

日本貝類学会
平成 30 年度 創立 90 周年記念大会
The 2018 Annual Meeting of the Malacological Society of Japan
90th Anniversary

会期：平成 30 年 5 月 26 日（土）・27 日（日）
会場：東京海洋大学 品川キャンパス
口頭発表・シンポジウム・総会：白鷹館 1 階講義室
ポスター会場・懇親会：楽水会館大会議室

大会スケジュールおよびプログラム

口頭発表プログラム（白鷹館 1F 講義室）

5 月 26 日（土）

- 8:30 受付開始（白鷹館ロビー）
○ 9:15-12:00 研究発表

- 座長 狩野泰則（東大・大気海洋研）
- 9:15-9:30 O-1 19 世紀のスウェーデンの調査船ヴェガ号が採集した日本産陸生貝類
中井克樹[○]（滋賀県立琵琶湖博物館）・滝川祐子（香川大）
- 9:30-9:45 O-2 ハジメテビロウドマイマイ及び近縁数種の再検討
亀田勇一[○]（国立科学博物館）・平野尚浩（東北大）・福田 宏（岡山大）
- 9:45-10:00 O-3 広域分布種ナミギセルおよび近縁種の分子系統地理
元陳力昇[○]（東大・総合研究博物館）・上島 励（東大院）
- 10:00-10:15 O-4 ミトコンドリア 16S rDNA と COI に基づく日本産イシガイ類の系統関係
佐野 勲[○]（東北大）・白井亮久（武蔵高校）・近藤高貴（大阪教育大）・
梅本健琉（近畿大）・宮崎淳一（山梨大）
- 10:15-10:30 O-5 日本産流水性イシガイ類の系統地理-保全単位の設定に向けて-
瀬尾友樹[○]（近畿大院・農）・八嶋勇氣（近畿大・農）・ジン タナンゴナン（近畿大院・
農）
- 10:30-10:45 O-6 日本近海に生息するクロヘリアメフラシは真の *Aplysia parvula* か？
戸川優弥子[○]（筑波大院・生命環境）・中野理枝（黒潮生物研究所）・中野智之
（京大・瀬戸臨海実験所）
- 座長 中野智之（京大・瀬戸臨海実験所）
- 10:45-11:00 O-7 海洋島小笠原の淡水貝：次世代シーケンサーを用いた起源と遺伝的分化の
解明
齊藤 匠[○]（東北大院・生命科学）・佐々木哲郎（小笠原自然文化研）・内田翔太
（東北大院・生命科学）・綱本良啓・陶山佳久（東北大・農）・千葉 聡（東北大・
東北アジア）
- 11:00-11:15 O-8 P 型・C 型は別種か？SNPs 解析で解き明かすイボニシニ型の謎
福森啓晶[○]（琉球大・熱帯生物圏研究センター；東大・大気海洋研）・伊藤 萌
（東大・大気海洋研）・松尾 歩・陶山佳久（東北大院・農）・小島茂明・狩野泰則
（東大・大気海洋研）
- 11:15-11:30 O-9 東アジア産イシダミ属貝類の集団遺伝構造・生息地嗜好性の比較
山崎大志[○]・内田翔太（東北大院・生命）・三浦 取（高知大・農林海洋科学）・
池田 実（東北大院・農）・千葉 聡（東北大院・生命）

- 11:30–11:45 O-10 ミトゲノム由来遺伝子 COI による日本棲息スガイ *Lunella coreensis* の系統地理学的解析
Davin H. E. Setiamarga (和歌山高専, 東大・総合研究博物館)・中島理子 (和歌山高専)・照屋清之介 (沖縄県海洋深層水研究所)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- 11:45–12:00 O-11 **Cryptic diversity of marine gastropod *Monodonta labio* along the coastline of China**
Dan Zhao^{1,2}・Qi Li¹・Takenori Sasaki²・Lingfeng Kong¹・Hong Yu¹ (1Ocean University of China, 2University Museum, University of Tokyo)

昼 食

公開シンポジウム「日本の貝類の多様性と保全」(白鷹館 1F 講義室 13:00–15:00)

- 13:00–13:02 会長挨拶
- 13:02–13:15 S-1 はじめに ―日本における希少貝類の法的保護の現状―
岩崎敬二 (奈良大・文)
- 13:15–14:00 S-2 招待講演 小笠原諸島の陸産貝類の多様性と保全
千葉 聡 (東北大・東北アジア研究センター；東北大院・生命科学)
- 14:00–14:30 S-3 貝の國 ”琉球” 死生存亡の險難 ―苦境に立つ沖縄の貝類保全―
久保弘文 (沖縄県海洋深層水研究所)
- 14:30–14:55 S-4 東アジアにおけるイシガイ目二枚貝の多様性と保全
近藤高貴 (大阪教育大・名誉教授)
- 14:55–15:00 まとめ

○ 15:00–16:30 ポスターセッション (楽水会館 大会議室)

○ 16:30–17:45 研究発表

- 座長 芳賀拓真 (国立科学博物館・地学)
- 16:30–16:45 O-12 日本海固有水から発見された固有水に固有なハダカメガイの 1 新種
山崎友資[○] (蘭越町貝の館)・嶋田 宏 (北海道・中央水産試験場)・堀川恵司・張 勁 (富山大院・理工)
- 16:45–17:00 O-13 小笠原諸島周辺からドレッジで採集された潮下帯及び上部漸深海帯の古腹足類
長谷川和範 (国立科学博物館・動物)
- 17:00–17:15 O-14 サザエ属の蓋に注目 驚きの多様性
知野光雄 (川崎市)
- 17:15–17:30 O-15 貝殻模様の 3 次元分布を再現するパターン形成数理モデル
佐藤英明[○] (東大・地球惑星)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- 17:30–17:45 O-16 ヒザラガイの着底初期における大側歯冠部の形態変化
佐川裕次郎[○]・大越健嗣 (東邦大・理)

○ 18:00–20:00 懇 親 会 (楽水会館大会議室)

5月27日(日)

- 8:30 受付開始
- 9:00-12:00 研究発表

座長 岩崎敬二(奈良大)

- 9:00-9:15 O-17 ショウゴインツキガイの生態と社会利用の研究
山下博由[○](貝類多様性研)・池口明子(横浜国大)・川瀬久美子(愛媛大)・井上智美・赤路康朗(国立環境研)・J. H. L. Leбата・E. F. C. Doyola-Solis (Southeast Asian Fishery Development Center)
- 9:15-9:30 O-18 外来生物サキグロタマツメタの新規侵入後の生態
鈴木聖宏[○]・大越健嗣(東邦大・理)
- 9:30-9:45 O-19 コモレビコガモガイの巻貝への付着行動とその適応的意義
中山 凌[○](京大院・理)・中野智之(京大・瀬戸臨海実験所)・遊佐陽一(奈良女子大・人間文化)
- 9:45-10:00 O-20 貝食性ホタルにおける粘液追跡行動と餌種選好性
佐藤 臨(首都大院・理)
- 10:00-10:15 O-21 ナンバンマイマイ科貝類を中間宿主とする吸虫 *Brachylaima* 属の1種について
脇 司[○](目黒寄生虫館)・中尾 稔・佐々木瑞希(旭川医大)・増野和幸(豊田ホタルの里ミュージアム)・巖城 隆(目黒寄生虫館)

座長 石田 惣(大阪市立自然史博物館)

- 10:15-10:30 O-22 潮間帯巻貝スガイが殻表に緑藻カイゴロモを付着させる利益
香川 理[○]・千葉 聡(東北大院・生命科学)
- 10:30-10:45 O-23 都市化が陸産貝類に与える影響：地表性エゾマイマイと樹上性サッポロマイマイの比較から見えるもの
佐伯いく代[○](筑波大)・丹羽 慈(自然環境研究センター)・長田典之(名城大)・東 若菜(京大)・日浦 勉(北大)
- 10:45-11:00 O-24 深海熱水性腹足類の幼生期における生育環境履歴復元：NnoSIMS を用いた貝殻元素分析
矢萩拓也[○](海洋研究開発機構；東大・大気海洋研)・田中健太郎・樋口富彦・白井厚太郎・狩野泰則(東大・大気海洋研)
- 11:00-11:15 O-25 カサガイ類のサイズと年齢
山本大輔(東大院・理)・西田 梢(茨城工専)・白井厚太郎・杉原奈央子(東大・大気海洋研)・石村豊穂(茨城工専)・佐々木猛智[○](東大・総合研究博物館)
- 11:15-11:30 O-26 ウロコムシに託卵する貝
狩野泰則^{○1}・小林元樹¹・高野剛史^{1,2}・Franziska Bergmeier^{1,3} (¹東大・大気海洋研, ²目黒寄生虫館, ³Ludwig-Maximilians-Universität München)

- 11:30-12:30 総 会

昼 食

- 13:30-15:00 ポスターセッション

○ 15:00-17:15 研究発表

- 座長 沼波秀樹 (東京家政学院大)
- 15:00-15:15 O-27 市民参加による大阪近郊の外来貝類の分布調査
石田 惣[○]・外来生物調査プロジェクト貝類班 (大阪市立自然史博物館)
- 15:15-15:30 O-28 軟体動物学者と既製の画像認識サービス—簡単画像分類
栗原康裕 (北海道・網走水産試験場)
- 15:30-15:45 O-29 囊舌目ウミウシの盗葉緑体現象の分子機構
前田太郎 (基礎生物学研)
- 15:45-16:00 O-30 MRI を用いた二枚貝類の心拍動とそれに伴う運動
瀬尾絵理子[○] (東大・大気海洋研)・瀬尾芳輝 (獨協医科大)・小島茂明 (東大・大気海洋研)
- 16:00-16:15 O-31 油壺産イソアワモチ (収眼類) の直接発生と卵塊構造の寄与
川端美千代・伊藤那津子・関藤 守・幸塚久典 (東大・三崎臨海実験所)・尾城隆[○]・金岡 穰・黒川 信 (首都大・生命科学)
- 座長 佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- 16:15-16:30 O-32 日本海南西部から東シナ海における頭足類稚仔の分類と分布
若林敏江[○]・高山結花・秦 一浩・西岡秀樹・服部 真・菅原陽平 (水大校)・佐々千由紀・依田真里 (西水研)
- 16:30-16:45 O-33 トウキョウホタテの絶滅過程
中島 礼[○] (産業技術総合研)・加瀬友喜 (神奈川大)
- 16:45-17:00 O-34 黒潮域から採集されるユキノカサは、現生か化石か?
芳賀拓真[○] (国立科学博物館・地学)・長谷川和範 (国立科学博物館・動物)・池辺進一 (和歌山県)
- 17:00-17:15 O-35 日本海沿岸地域の上部鮮新統より産出した暖流系腹足類化石
天野和孝 (上越教育大)

ポスター発表 (楽水会館大会議室)

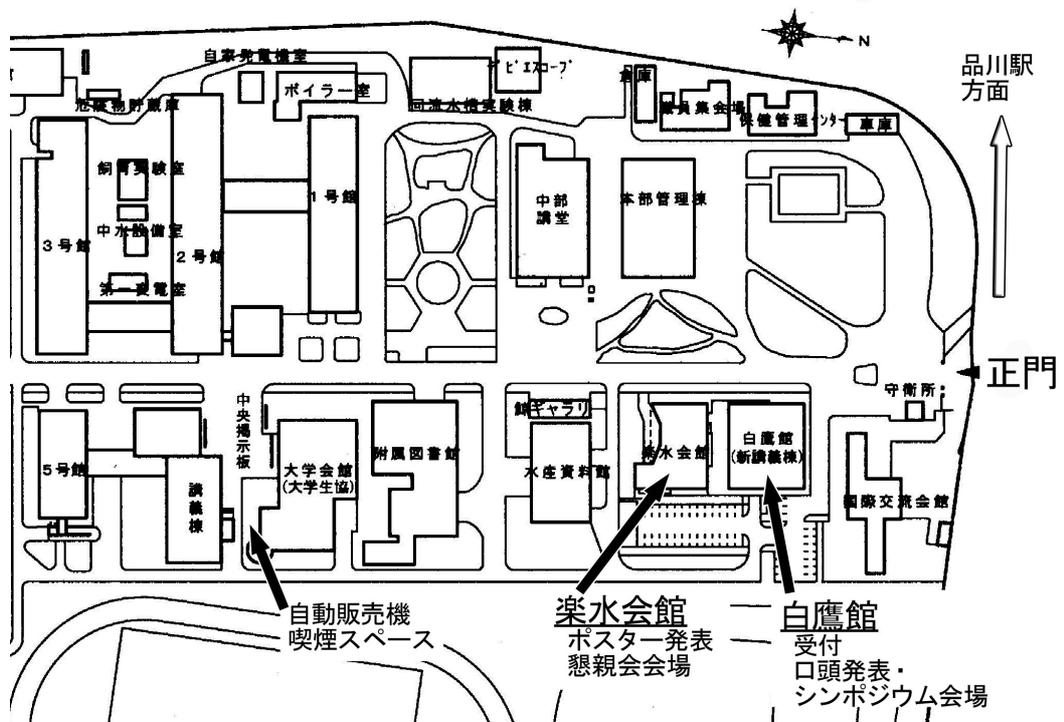
コアタイム 奇数番 26日 15:00~16:30
偶数番 27日 13:30~15:00

- P-01 アマオブネガイ科貝類にみられる貝殻色素の分光学的研究
古村俊行[○]・鍵 裕之 (東大院・理学系)・石川牧子 (東大院・理; ヤマザキ動物看護大・動物看護)・安井万奈 (早稲田大・理工学術院総合研究所)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- P-02 国立科学博物館に寄贈された馬場勝良コレクション
芳賀拓真[○] (国立科学博物館・地学)・永戸秀雄 (産総研・第七)・加瀬友喜 (神奈川大・理)・入江貴博 (東大・大気海洋研)
- P-03 久米島産カラマツガイ科の分子系統解析
寺本沙也加[○] (東邦大・理)・照屋清之介・久保弘文 (沖縄県海洋深層水研究所)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)・大越健嗣 (東邦大・理)
- P-04 筑波大学の陸産および淡水産貝類相
佐伯いく代[○]・南波紀昭・向峯 遼 (筑波大)
- P-05 軟体動物腹足綱でのインポセックス及び組織再生におけるレチノイン酸受容体(RAR)とレチノイド X 受容体(RXR)の役割
清岡寛人[○]・畔柳知幸・中野春男・梅村真理子・高橋 滋・高橋勇二 (東京薬科大・生命科学)
- P-06 ニホンマメシジミの分類学的検討
家山博史 (愛媛県)

- P-07 **アマオブネとアマガイの対捕食者戦略の違い**
田中碧衣[○] (神奈川大院・理)・若山典央 (神奈川大・総合理学研)・大和田正人・金沢謙一 (神奈川大・理)
- P-08 **オナガミクリガイと近隣種のミトコンドリア DNA による分子系統解析**
高田良二 (西宮市貝類館)
- P-09 **瀬戸内海西部の干潟における肉食性巻貝と二枚貝の分布**
安田風真[○] (水大校・院)・南條楠土 (水大校)・山本倫也・惠本 佑 (山口県)・山村秀明 (山口市)・足利由紀子 (NPO 水辺に遊ぶ会)・須田有輔 (水大校)
- P-10 **年一化のコハクオナジマイマイは卵でなく幼貝で越冬する**
入村信博[○] (千葉県立若松高校)・浅見崇比呂 (信州大院・理)
- P-11 **イシダタミ属 (*Monodonta*) における触角の機能**
緒方大地[○] (神奈川大院・理)・若山典央 (神奈川大・総合理学研)・大和田正人・金沢謙一 (神奈川大・理)
- P-12 **秋に放出された琵琶湖産ドブガイ属幼生の宿主魚類**
伊藤寿茂 (新江ノ島水族館)
- P-13 **スガイ&カイゴロモ全国調査：SNS を活用して共生関係の謎を解く**
内田翔太[○]・香川 理・山崎大志 (東北大院・生命科学)・大澤祐美子 (九大院・天草臨海実験所)・千葉 聡 (東北大・東北アジア研究センター)
- P-14 **センマイドオシ科貝類の形態、繁殖様式および系統的位置**
高野剛史[○] (東大・大気海洋研；目黒寄生虫館)・長谷川和範 (国立科学博物館・動物)・芳賀拓真 (国立科学博物館・地学)・狩野泰則 (東大・大気海洋研)
- P-15 **ナノインデンテーション・CT 解析および圧縮強度試験を用いた 二枚貝の殻層構造における力学的優位性に関する検討**
吉村太郎[○] (慶應義塾大・理工)・武末翔吾・中山正光 (慶應義塾大院・理工)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- P-16 **在来それとも移入？ 邦産 *Deroceras* 属ナメクジの分類と分布**
狩野泰則[○] (東大・大気海洋研)・福森啓晶 (東大・大気海洋研；琉球大・熱帯生物圏研究センター)
- P-17 **ベリング海南東部で採集されたハダカカメガイ類の分子系統解析**
小磯桃子[○]・大越健嗣 (東邦大院・理)・山口 篤 (北大)・土田真二・河戸 勝・藤原義弘 (海洋研究開発機構)
- P-18 **シンクロトロン CT で見る深海熱水巻貝ギガントペルタの成長に伴う食性変化**
Chong Chen[○] (海洋研究開発機構)・植松勝之 (マリン・ワーク・ジャパン)・Katrin Linse (英国南極観測局)・Julia D. Sigwart (クイーンズ大ベルファスト；カリフォルニア大バークレー校)
- P-19 **深海性ベントスの分布と種分化：チヂワバイ属巻貝の例から**
石山玄樹^{○1}・高野剛史^{1,2}・福森啓晶^{1,3}・伊藤 萌¹・小島茂明¹・狩野泰則¹ (¹東大・大気海洋研, ²目黒寄生虫館, ³琉球大・熱帯生物圏研究センター)
- P-20 **貝類多様性の宝庫、佐久島潮間帯 (三河湾) の貝類相**
早瀬善正[○] (東海アクアノーツ)・木村昭一 (三重大院・生物資源)
- P-21 **ツメタガイの索餌に関する行動実験**
本野由惟[○] (千葉科学大；東邦大)・小濱 剛 (千葉科学大)・大越健嗣 (東邦大)
- P-22 **八重山諸島サンゴ礁域から得られたサメハダヒザラガイ属多板類の 1 新種**
齋藤 寛 (国立科学博物館・動物)
- P-23 **一様環境下における巻貝類の移動パターンの解析**
奥村洋介[○] (京大院・理)・中野智之 (京大・瀬戸臨海実験所)
- P-24 **アナジャコ科甲殻類に寄生するマゴコロガイの盗餌生態**
伊谷 行[○]・村上瑠菜・佐藤あゆみ・梶原 薫・吉田祐侑・櫛葉顕信 (高知大・教)
- P-25 **武蔵高等学校中学校収蔵の 1930 年以前に採集された貝類標本**
石井康人[○]・富沢高志・白井亮久 (武蔵高等学校 総合講座『標本庫』学)
- P-26 **江戸川河口干潟におけるオキシジミガイ (*Cyclina sinensis*) の成長の季節変化**
橋詰和慶[○] (戸板女子短期大)・内野 透 (いであ株式会社)

- P-27 **日本近海のウミウシ相**
 中野理枝 (黒潮生物研究所; NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会)
- P-28 **日本産ホタルガイ属の分子系統解析 (予報)**
 照屋清之介[○] (沖縄県海洋深層水研究所)・佐々木猛智 (東大・総合研究博物館)
- P-29 **レイシガイダマシ属 *Tenguella* の陰莖に認められた特異な形態**
 山口瑞貴[○]・土屋光太郎 (東京海洋大)
- p-30 **深海性ハナヅトガイ科の再検討とオホーツク海南部から発見された2新種**
 山崎友資[○] (蘭越町貝の館)・松崎浩二 (ふくしま海洋科学館)・柳本 卓 (中央水産研究所)

東京海洋大学品川キャンパス内 建物配置図



- 土日のため、学生食堂、売店は休業中です。
- 喫煙スペースをのぞき、構内は禁煙です。よろしくお願いいたします。